

事業コード	0030101	政策コード	04	政策名	いのちと健康を守る安全・安心な社会づくり
事業名	元気にとよむ「伸ばそう健康寿命」推進事業	施策コード	03	施策名	心の健康づくり・自殺予防対策の推進
		指標コード	01	施策目標(指標)名	自殺予防総合対策の推進
部局名	健康福祉部	課室名	長寿社会課	班名	調整・長寿福祉・施設班
				(tel)	1361
				担当課長名	桜庭 規祥
				担当者名	佐藤 真衣子
<b>評価対象事業の内容</b>					
事業年度 平成24年度 ~ 平成26年度					

1-1. 事業実施の背景(施策目標の達成のためになぜこの事業が必要であったのか)  
 本県の65歳以上の人口(高齢者数)は平成32年頃まで、75歳以上の人口(後期高齢者数)は平成42年頃まで増え続ける見込みとなっている。  
 加齢に伴い介護が必要になるリスクが高くなっていくものであるが、いつまでも健康で自分らしく暮らしていくためには、県民一人ひとりが高齢期の過ごし方でのポイントについて意識を持ち、積極的に行動することで介護が必要になるリスクは抑えられる。  
 高齢化率が全国一となった本県において、こうした「自助」の支援に積極的に取り組んでいく必要がある。

1-2. 外部環境の変化及び事業推進上又は完了後に明らかになった問題点  
 高齢化率が上昇する中、平成29年度に全国健康福祉祭(ねんりんピック)が本県で開催されることが決定するなど、それまでに県民の健康寿命の延伸に向けた気運を高める必要がある。

2. 住民満足度の状況(事業終了後に把握したもの)  
 満足度を把握した対象 受益者 一般県民(時期: H24年10月)  
 満足度の把握方法  
 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット  
 その他の手法 (具体的に 実績報告及(LL大学園参加者意見))  
 満足度の状況  
 LL大学園参加者からは、元気にとよむ十ヶ条を日々の生活に取り入れたい、高齢期を充実して過ごすためのたくさんのヒントをもらった、他の参加者との交流により積極的な活動に繋がったなど、高齢者の健康で元気に暮らしに繋がる意見が多数寄せられた。

3. 事業目的(どういう状態にしたかったのか)  
 高齢者が健康で元気がなくらしを長く継続できる。(健康長寿の実現)

4. 目的達成のための方法  
 事業の実施主体  
 県、公益財団法人秋田県長寿社会振興財団(以下、「LL財団」という。)  
 事業の対象者・団体  
 高齢者を始めとする一般県民  
 達成のための手段  
 「元気にとよむ十ヶ条」のポスター、リーフレットを活用した啓蒙  
 全国健康福祉祭(ねんりんピック)への選手派遣、県版ねんりんピックスポーツ交流大会の開催  
 高齢者の文化活動発表会の開催

5. 前回評価における指摘事項等

指摘事項

指摘事項への対応

6. 事業の内容  
 事業概要及び推進状況

- 「元気にとよむ十ヶ条」の活用促進  
 LL大学園開催を通じた情報発信、啓発用品の作成、ホームページによる情報提供
- 高齢者スポーツ等支援  
 全国健康福祉祭への選手派遣、県版ねんりんピックスポーツ交流会の開催
- 高齢者文化活動支援  
 高齢者文化活動発表会の開催

事業費等		単位(千円)	
内 訳		当初計画事業費	最終事業費
「元気にとよむ十ヶ条」活用促進事業		3,013	2,808
高齢者スポーツ等支援事業		60,120	61,024
高齢者文化活動支援事業		3,443	3,443
事業費計		66,576	67,275
財源内訳	国庫補助金		
	県 債		
	そ の 他	37,139	38,125
	一 般 財 源	29,437	29,150

当初計画及び最終の事業費比較

最終事業費 / 当初計画事業費 =( 1.01 )

7. 事業の効果及び課題の改善状況  
「元気にとしよる十ヶ条」については、LL大学園、ホームページ、ポスター等を通じた啓発普及を実施し、高齢者をはじめとした一般県民への周知が図られた。  
高齢者スポーツ等支援については、全国健康福祉祭への選手派遣、県版ねりんピックの開催を通して、高齢者のスポーツ等に親しむ機会の創出、健康の保持増進を図り、年々参加者も増加している。  
高齢者文化活動支援については、文化活動に取り組んでいる高齢者の日頃の成果を披露する発表会の開催により、健康保持増進に繋がった。

8. 事業の効果把握するための手法及び効果の見込み

指標名	高齢者のスポーツ交流大会への参加者数								指標の種類	
指標式	県版ねりんピックスポーツ交流大会参加者数 + 県南・県北地区スポーツ交流大会参加者数								成果指標 業績指標	
年度別の目標値（見込まれる効果） 低減目標指標 該当 非該当										
指標	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体		
目標a	1,200	1,200	2,200	2,300	2,400	2,500	2,500	14,300		
実績b	1,114	1,297	2,303	2,306	2,441	2,390	2,420	14,271		
b / a	92.8%	108.1%	104.7%	100.3%	101.7%	95.6%	96.8%	99.1%		
データ等の出典	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業実績報告書									
把握する時期	当該年度中 03月		翌年度	月	翌々年度	月				

指標名									指標の種類	
指標式									成果指標 業績指標	
年度別の目標値（見込まれる効果） 低減目標指標 該当 非該当										
指標	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体		
目標a										
実績b										
a / b										
データ等の出典										
把握する時期	当該年度中 月		翌年度	月	翌々年度	月				

指標を設定することができなかった場合の効果の把握方法  
指標を設定することが出来なかった理由  
  
  
成果（見込まれる効果）

所管課の評価				評価結果
有効性の観点	住民満足度の状況 a b c 【b又はcの場合の分析】			A  B  C
	事業の効果 適用の可否 可 不可 a 達成率100%以上 b 達成率80%以上100%未満 c 達成率80%未満 【b又はcの場合の理由】			
	目標値に対する達成率は概ね95%以上であり、高齢者のスポーツに親しむ機会の創出や健康保持増進が図られた。			
効率性の観点	事業の経済性の妥当性 適用の可否 可 不可 a 1.0~ b 0.8~1.0 c ~0.8 【事業終了後の効果 最終事業費】 / 【当初計画時の効果 当初計画事業費】 = 0.99 【評価への適用不可、又はb、cの場合の理由】			評価結果
	高齢者のスポーツを通じた健康、生きがいづくりとして、毎年度多くの参加者が参加しており、年々増加傾向となっていることから、事業効果は大きいと考える。			A 1.0~ B 0.8~1.0 C ~0.8
	A (妥当性が高い) B (概ね妥当である) C (妥当性が低い)			
総合評価	高齢化率が年々高くなる本県において、今後の介護が必要になるリスクを抑えるためには、高齢者がいつまでも健康で生きがいのある生活を送ることが重要である。本事業は県民一人ひとりの健康長寿に向けた意識の持ち方、スポーツや文化を通じた健康づくりを図っていることから、大変有効である。			
評価結果の類似事業への反映状況等(対応方針)				
政策評価委員会意見				

## 終了事業事後評価判定点検表

(様式5-1)

## (1)各評価項目の判定基準

観点	評価項目	判定基準	配点	1次	2次	評価結果	
ア有効性	一 住民満足度等の状況	a 住民満足度等を的確に把握しており、満足度も高い	2	2		A:有効性は高い (4点)	
		b 住民満足度等を把握しているが、手法が的確でない又は満足度が高くない	1				
		c 住民満足度等を把握していない	0				
	二 事業目的の達成状況	a 目標値に対する達成率が全て100%以上	2	1		B:有効性はある (1~3点)	
		b a、c 以外の場合	1				
		c 目標値に対する達成率のいずれかが80%未満	0				
計			4	3		B	
イ効率性	一 事業の経済性の妥当性	a 当初計画時と事業終了後の事業効果を比較した値(注)が全て1.0以上	2	1		A:効率性は高い (2点)	
		b a、c 以外の場合	1				
		c 当初計画時と事業終了後の事業効果を比較した値のいずれかが0.8未満	0				
	計			2	1		B

(注)事業経済性の算定式

$$\left( \text{事業終了後の効果} / \text{最終事業費} \right) / \left( \text{当初計画時の効果} / \text{当初計画時事業費} \right)$$

上式で、効果とは事業の効果を把握するために設定した指標の実績値をいう。なお累積の実績値を設定している場合は、前年度からの差し引きによる「単年度増加分」を実績値として用います。

## (2)総合評価の判定基準

総合評価の区分	判定基準	総合評価	
A (妥当性が高い)	全ての観点の評価結果が「A」判定の場合	B	
B (概ね妥当である)	総合評価結果が「A」又は「C」以外の場合		
C (妥当性が低い)	全ての観点の評価結果が「C」判定の場合		